

独立行政法人日本貿易振興機構  
2017年度 第1回契約監視委員会 議事概要（要旨）

1.日時：2017年6月28日（水）14:00～15:00

2.場所：日本貿易振興機構 10階会議室

3.出席委員：

中村信男委員長、尾花眞理子委員、齊藤秀久委員、出口眞也委員、松本裕樹委員

4.議事

- (1) 2016年度一者応札・応募案件
- (2) 2016年度競争性のない随意契約
- (3) 2017年度競争性のない随意契約
- (4) 「平成28年度調達等合理化計画」評価に係る点検
- (5) 「平成29年度調達等合理化計画」策定に係る点検

5.委員長選出

契約監視委員会の設置に関する内規第3条第3項に基づき、外部有識者のうちから委員の互選により、中村委員を委員長に選出。

6.議事概要

(1)2016年度一者応札・応募

事務局より2016年度第4四半期に実施した案件につき説明。

<委員からの主なコメント>

- システム関係の調達は最初に納入した事業者が他者に比べて応札しやすいので最初に調達した時に事業者から多くの情報を入手しておいて、ジェットロでも判断材料を持つておくことが価格の適正性を担保するために必要。
- 事後的に問題がなかったか検証するプロセスを強化することが必要。

(2) 2016年度競争性のない随意契約

事務局より2016年度第4四半期に実施した案件について説明。

<委員からの主なコメント>

- システム関連は著作権を理由として随意契約とならざるを得ない場合があるが、当初の契約時に契約終了時にジェットロに著作権を譲渡するという契約をすることで競争性を確保できる可能性はなかったか検討してほしい。

(3) 2017 年度競争性のない随意契約

事務局より対象案件について説明。

<主な説明>

- 展示会出展において、展示の統一性のために施工業者が決まっている案件については、設計監理業務はジェトロが手配することで費用節減の取り組みを行っている。

(4) 「平成 28 年度調達等合理化計画」評価及び「平成 29 年度調達等合理化計画」策定に係る点検

事務局より平成 28 年度の評価および平成 29 年度の計画につき概要を説明。

<委員からの主なコメント>

- 調達等合理化計画の冒頭で全体として PDCA サイクルで回すと記載がある。「3. 調達に関するガバナンスの徹底」について、「C」のチェック機能である独自の自己点検は実施したほうがいい。
- 事前の段階では内部規程や決裁プロセスで厳重に妥当性がチェックされるが、結果的に一者応札になった場合や落札率が 100%になった場合に対する事後点検を内部統制として行うものとする。

以 上